



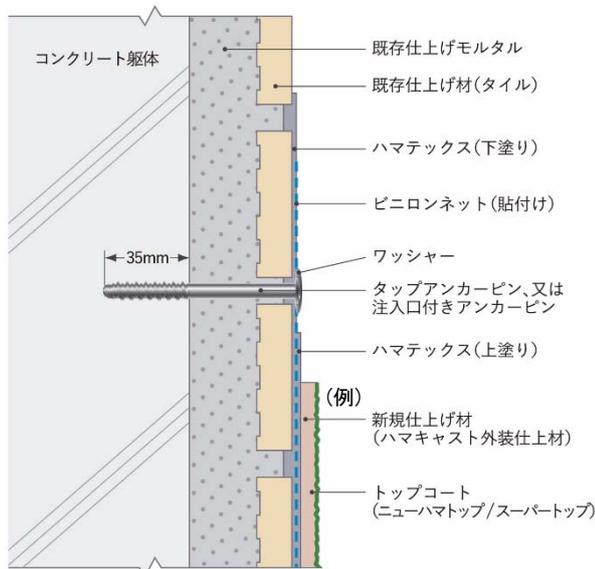
【審査証明番号／有効期限】	BCJ-審査証明-107／2026年7月18日
【技術の名称】	建築物の外壁補修技術「ハマテックス・ネットアンカー工法」
【依頼者(審査証明取得者)】	株式会社 ハマキャスト

【技術概要】

建築物の高さ 45m以下のコンクリート壁体を下地とする既存仕上げ層に対して、既存仕上げ層を撤去せずにその上からハマテックス(カチオン系樹脂モルタル)とピニロンネットを被覆して新たに下地層を構築し、アンカーピンで既存仕上げ層と新規下地層を躯体に固定して脱落を防止する外壁補修技術である。

本工法は、既存仕上げ層を撤去せずに新規下地層が構築でき、タイルをはつり取る工法に比べ廃材の発生が非常に少ない環境に優しい工法である。

【工法概念図】



【適用対象】

建築物のコンクリート躯体を下地とする既存仕上げ層が経年劣化した場合に、その劣化した仕上げ層に対して、本工法により新規下地層を構築し、表層に新規仕上げ層を施工する補強改修工事に適用する。施工部位は、一般外壁、内壁、バルコニー、パラペット、軒裏等に適用できる。

本工法を適用して補修する既存仕上げ層の種類は次の通りである。

- ①コンクリート打ち直し
- ②コンクリート+モルタル
- ③コンクリート+モルタル+陶磁器質タイル
- ④コンクリート+モルタル+薄付け仕上塗材
- ⑤コンクリート+モルタル+厚付け仕上塗材
- ⑥コンクリート+モルタル+複層仕上塗材
- ※④・⑥について、防水形塗材は適用対象外とする。

【開発の趣旨】

陶磁器質タイル壁面は、施工の良否によって差があるが、時間の経過とともにタイルの浮きが発生しやすく、時には脱落するという非常に危険な状態になる場合がある。

このような状態に至ると、従来は既存陶磁器質タイル層をはつり取り、新たに下地層を形成し表層の仕上げを行ってきた。しかし、この方法は工事中の騒音と振動が大きく、廃材も大量に発生するという環境上の大きな問題がある。

又、このような問題のあるビルやマンションが過去に多く建設されて現存すると言う事実があり、これらの物件は何れ改修の時期を迎えること、更に日本全国各地で発生している地震に対して、特に近未来に発生するとされている確率の高い地域においてその対策が必要となっている。

これらの問題を解決する工法として開発した。

【開発目標および審査証明結果】

本技術について、前記の開発の趣旨及び開発目標に照らして審査した結果は、以下のとおりである。

- (1) 既存仕上げ層と新規下地層との付着強さが $0.7\text{N}/\text{mm}^2$ 以上であるものと判断される。
- (2) 高さ45m以下の建築物の既存仕上げ層に被覆して構築した新規下地層をアンカーピンで躯体に留めつけることにより、既存仕上げ層及び新規下地層が風荷重や地震荷重によって脱落することを防止するものと判断される。
- (3) 新規下地層が温冷繰返しに対する耐久性試験において、付着強さが $0.5\text{N}/\text{mm}^2$ 以上であるものと判断される。
- (4) 既存仕上げ層を残すことにより、モルタル塗替え工法やタイル張替え工法に比べ、廃材の発生を抑制するものと判断される。
- (5) 安定した品質・性能を確保するために、適切な施工体制及び施工マニュアルが確立されているものと判断される。

【本技術の問い合わせ先】

企業名 株式会社ハマキャスト
部署名 製品管理部
担当者名 福田 匡洋



TEL : 06-6485-8882 FAX : 06-6485-8883
技術紹介サイト <http://www.hamacast.co.jp>